

提出された意見及び検討結果

※ 意見は提出者ごととなっています。

番号	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	【子どもの権利に関する理解を深めるための事業について】 「第3条 市は、子どもの権利の日を中心として、子どもの権利に関する理解を深めるための事業を実施するものとする。」小金井市の子どもの権利条例は、多くの市民がその制定に関わってきた事実があります。この条文にある「子どもの権利に関する理解を深めるための事業」について、市関係者だけではなく、市民参加で事業を実施してほしい。また、関連イベントをやって終わりではなく、市民（おとな）が子どもの権利についての理解を深めることができるための取り組みを継続して行ってほしい。（子どもたちへの子どもの権利についての学習は進んでいるのは十分理解はしています。）	子どもの権利学習についてご理解いただきありがとうございます。いただいたご意見については、今後事業を進めるうえで参考にさせていただくべきものと考えます。
2	【前文】条例の前文を、中学生たちの声を聴いて一緒に作ったことは素晴らしいと思います。子どもたちが自分の気持ちを伝えたい、と思える大人に、まず私たちがなりたいと思いました。 このページにある「子どもの権利の日」に込めた子どもの気持ちの絵と文は分かりやすくいいですね。＜みんな違う＞が最初にあるのは特にいいですが、この部分は、特に大切に丁寧に扱っていただきたいです。同調圧力をかけがちな大人社会が猛烈に反省して、大人自身から変えていかないと子どもの苦しさは変わりません。 HPなどはもちろんですが、学校はじめ公共施設などでも多くの大人の目につくように掲示していただきたいです。	解説の「子どもの気持ち」の絵と文についてご意見ありがとうございます。なお、周知については、更なる取組が必要であると考えます。周知方法についても今後の参考にさせていただくべきものと考えます。
3	【条例制定後の取組について】 子どもの権利の日条例制定を歓迎します。 子どもの権利に関する理解を深めるための事業を実施する、とありますが、どんな事業をどのように行うか、大人も子どもと一緒に意見を出し合って決める場を作ってください。 また、市の審議会などで子どもの意見を出せるチャンスを作ってください。また、子どもの権利に関する市の事業評価は、子ども権利部会など常設の審議会で検討し、その委員には中学生などの子ども委員も含めてください。	いただいたご意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。

4	【条例制定後の取組について】 目的は、子どもの権利条例第5条の「子どもの権利の普及」を推進するため、小金井市子どもの権利の日（以下「子どもの権利の日」という。）を制定する、とあります。 そのためには、のびゆく子どもプランだけでなく、条例の推進計画と検証の仕組みを作ってください。検証の仕組みは、意見3で述べた子ども権利委員会などで、オンブズパーソンも含めた子どもに関わる事業すべてを対象としてください。	いただいたご意見については、今後事業を進めるうえで参考にさせていただくべきものと考えます。
---	---	--

子どもの権利の日アンケート結果（児童館（子ども対象））

1 実施概要

令和 8 年 3 月 3 0 日に児童館にて子どもを対象にアンケートを実施した

2 結果

小学生 7 名から回答があった

※ 意見は質問ごとに取りまとめて記載

番号	質問項目	寄せられた意見
1	子どもの権利の日のイベントではどんなことをしてみたいですか	ダンスの発表 レジンづくり 食べ物の屋台（チェロス・わたあめ・チョコバナナ） たのしい工作 いろんなワークショップ
2	自分の意見を誰かに伝えるときどんな気持ちになりますか	・ぜんぜんさいしょから、1 年生のころからきんちょうしていません！ ・さいしょはきんちょうするけど、たくさんやったら、きんちょうしない ・しんぞう、とびでそうになる ・ドキドキする ・みんなにわかってもらえるか心配 ・きんちょうする
3	自分の意見を伝えるとき、大人や周りの人にはどうしてほしい？	・目を見てきいてほしい、うなずいてほしい！ ・目を見てきいてほしい ・めをあわせてはなすのがにがてだから、それはゆるしてほしい ・話をきいてほしい ・リアクションがほしい ・もんくをいわないでほしい ・話をきちんときいてほしい

子どもの権利の日アンケート結果（まなびポケット（子ども・保護者対象））

1 実施概要

令和8年1月26日から令和8年2月26日まで

まなびポケットを活用して、L o g o フォームにてアンケートを実施した

2 結果

保護者や子どもから10件の回答があった

※ 意見は質問ごとに取りまとめて記載

番号	質問項目	寄せられた意見
1	（物語「子どもの権利ってなんだろう」を読んで）どう感じましたか？「こんな風に話してみたい」「ここはちょっと難しいかな」など、素直な感想をお聞かせください。 この物語には、仮称「子どもの権利の日制定条例」前文案をつくる過程で出された子どもたちの願いが込められています。	・なかなか難しそうである。わがままと権利の違いをちゃんと理解できるのかが不安。 ・なんの権利なんだろうと思いました。 ・子どもが巻き込まれる事件や事故があるが、私は、児童虐待は特に許さない。子どもは親を選べない。親が心の余裕を持って暮らせるように市として尽力していただきたい。虐待してる親は、怒りの捌け口か、憂さ晴らしか、性格なのかよく分からないが、子どもは宝である。社会全体で育ててあげたい。虐待を見逃さない、許さない社会の構築に努めていただきたい。 ・いい話。3つの言葉は大切だと思った。 ・子どもの意思を無視して親が独断で物事を決めることがないよう日頃から意識しています。子どもにもそれが伝わっているようで、自分の意見を表現できる子に育っていると思います。子どもひとりひとりが人として尊重されるべきだと強く共感致します。 ・権利について分かった難しかったが、物語になっていたので楽しく読むことが出来た。 ・子どもを大切にしてくれる小金井は、安心して過ごせると思う。

		・全体的に、何言ってるかわかんなかった。 ・「最後にね、この条例は、僕たちが自分らしく育つだけじゃなくて、『他者と共に平和な暮らしを創り出す』人になれるように願っているんだ。」という部分に共感しました。なぜなら、子どもの権利のことを知ったら「自分らしく生きる」だけの意見に固まってしまうかもしれないけど、他の意見がある事を知ることによって、自分が「自分らしく生きる」だけのものじゃないんだと思うことができると感じたから。また、この言葉を元に平和な暮らしを作り出そうと思う人が増えていくのではないかと感じたから。
2	「子どもの権利の日」についてどう思いますか？ この日は、単なる記念日ではなく、日々の関わり方を見つめ直し、子どもの声を確かに受け止める「実践」につなげるための日です。みんなで権利を確認し合う日が、あなたにとってどんな日であってほしいか、ぜひ意見を聞かせてください。 また、上記の前文案などを読んでの感想も教えてください。	・話し合いの場があるのは良いことである。リーフレットをもっと簡単に分かりやすく、子どもでも楽しく理解できるように改善してほしい。心理テストのようなものとかあみだくじとかを用いるのもいいかも。 ・自分自身の存在を尊重出来るからすごいいいと思います！ ・子どもが小さい頃は、仕事と家事育児に追われて、必死過ぎて夜寝る時ぐたぐただった。ソファーにも座れない毎日を過ごしていた。子どもたちと過ごした日々はかけがえのないものだ。私も母として成長できて、幸せな日々を過ごしてきた。私の手を離れ、保育園の送迎から卒業し、子どもが毎日学校に元気に「行ってきます」と言ってくれるのは、小金井市が安全安心な街であり、小学校が楽しく学べる場所であるからである。ありがたい環境である。 今でも思い出すのは、小学校の入学式の時、息子が真新しいランドセルを背負い、手を繋いで学校まで歩いていたら、見知らぬ高齢女性におめでとうございませと笑顔で言われたことだ。子どもの入学式を祝ってくれる人が家族以外にいて、実際に声をかけていただいたことが嬉しかった。些細なことで、頑張ってる母は感動するのである。子どもを育てるのは大変である。街全体が、子どもに優しくできる世の中になると、その子も、人に優しくできる大人になると思う。子どもの権利の日は、子どもの成長をみんなで喜べる日にしたい。 ・みんなで意見を話したり、ちゃんと権利を確認できる日であってほしい。 ・そういう日は大切だと思う。

		・いつも楽しい ・文章が長い ・子どもの権利の日がこんなに大切な日だったんだと考えなされました。これからの日々の関わり方を見つめ直していけたら良いなと思いました。
3	「子どもの権利の日」にやってみたいイベントはありますか？ 「大人が子どもの本音を聴くワークショップ」や「2050年の未来をAIや技術を使って想像する会」など、子どもと大人が「対等な主体」として一緒に楽しめるアイデアを募集します。あなたが「これなら参加してみたい！」と思うイベントを教えてください。	・①子どもが考えた絵本や短編小説などを募集し、優秀作品を市内の図書館に置く。②小金井子ども新聞（地域のイベントの紹介や各学校の紹介、おすすめの本の紹介など）子どもたち主催で作成。 ・AIは進歩するものなので期待している。 ・大人対子どもの綱引き、大人対子どものドミノ倒し、大人対子どもの似顔絵大会、ジブリクイズ ・生き物を観察するイベント ・未来に備えて技術をどう発展させるか考える会をしてみたい！ ・子ども中心のお祭り企画 ・鬼ごっこ